

食農教育に関する研究 ～作物栽培の教材化～

最終更新日：2016年8月31日

技術教育講座

教授

平尾 健二

キーワード

・農作物

・食農教育

・農学

・栽培教材

・ペットボトル稲

研究シーズの説明 (私は、このような研究に取り組んでいます。)

「農学の基礎を教育現場に」

作物(植物)の栽培は、幼稚園(保育園)、小学校、中学校をはじめとする多くの教育現場において、多岐にわたる教科等で行われています。一方で、その栽培技術に関しては、苦手意識をもった先生方も多いようです。私は農学の基礎を農学部で学んだ者として、教育現場で作物栽培を豊に学ぶことのできる教材を開発する研究を行っています。

「教育現場に役立つ栽培教材の開発」

例えば、イネの栽培教材として開発した「ペットボトル稲」は、学校においてイネを学ぶ教材として普及している「バケツ稲」の欠点のカバーしながら、教師と児童生徒がイネの成長に立ち会い、実りを実感できる教材です。夏休み中の管理(水やり、追肥)を省力化するとともに、軽量化することで子どもたちが簡単に運ぶことができ、教室内に持ち込んで観察をすることもできます。

その他、アイガモ農法、ひょうたん、グリーンカーテン等々、科学的なメカニズムを明らかにしながら、現場のニーズに即した栽培技術を確立し、学校等に提供するための研究を行っています。

成果の応用可能性 (私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

食農教育に関連する各教科・学習への応用

開発した教材

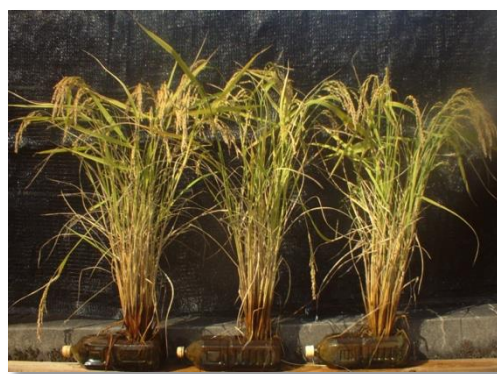
→
小学校「総合的な学習の時間」・「理科」など
中学校技術・家庭科技術分野(生物育成に関する技術)
での実践

(例)

ペットボトル稲(2003年から学校に普及)

小中学校に出前授業(のべ約120回)

実践した 児童生徒 約4000名



これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

社会貢献活動

- 福岡県教育センター
教員研修「キャリアアップ講座」2004年度～
- 幼稚園での食育活動
寸劇「太陽戦隊おこめレンジャー」2004年度～
- 宗像市健康づくり協議会委員2010年度～
- 宗像地区農村女性グループとの交流会2010年度
- 都会のビル屋上でのイネ作り講習会「たのしいイネ」
解説指導 2011年度～
- 福岡市立香椎小学校学校サポーター2012年度～
- 宗像地区若手農業者(4Hクラブ)との交流会2016年度～

連携研究

- 有機農法「菌ちゃん元気野菜づくり」の科学的検証
(佐世保市NPO法人大地といのちの会との協力)
2013年度～
- 福岡県技術科勉強会 2015年度～
- 農でつながる教育ネットワーク 2012年度～
- 全国教員養成大学 技術教育生物育成担当者との
科研費研究 代表者(基盤研究B No.16H03061)